

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

平成28年1月 日

協議会名: 中井町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社湘南神奈交バス	<p>運行系統名: 中井町オンデマンドバス(通称: 中井ふれあいバス)</p> <p>運行区域: 中井町内全域(乗降ポイント121箇所)と町外5箇所を対象としたデマンド型交通システム(区間運行型)</p>	<p>公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして、平成25年1月10日から実証運行している中井町オンデマンドバスについて、地域の需要に合致した運行サービスの見直し・改善(運行エリアや乗降ポイント、予約方法等)を重ね、持続可能な地域公共交通システムとなるよう見直しを行っていく計画となっている。</p>	<p>A</p> <p>平成27年3月に運行内容の見直しを行った。路線バスの廃止・減便に伴う代替の乗降ポイントの設置、また、利用の少ない夜間時間帯の運行を短縮して、代わりに朝の運行時間帯を拡充させたことで、利用者の拡大に繋がっていることから、計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>平成27年度(平成27年9月末現在)の利用者数は、44.6人/日まで伸びていることから、事業は着実に定着してきており、当初目標とした30人/日以上を上回っている。 平成27年度(平成27年9月末現在)の登録者数は、2,616人で、平成27年度の目標とした2,600人を、わずかに上回ることができた。</p>	<p>利用者は徐々に増加しているが、新規登録の利用が鈍化していることから、引き続き登録・予約等の抵抗を軽減させるため、周知活動を継続的に進め、以前より町民にニーズが高い鉄道駅への乗入れや生活スタイルに合わせた運行等、今後も利用状況の検証や町民の利用ニーズの把握を行いながら、近隣自治体等関連機関との連携も模索し、より利用される運行計画の検討を進める。</p>

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。